

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		中学校運営費[中学校運営関連事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	事業番号	1	
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		教育総務 課 庶務 係 課長名 斎藤謙二郎										
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)		31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 公立中学校に係る庶務(対象者：生徒、教職員、学校事務職員)				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 公立中学校に係る庶務的な事務の件数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 会計年度任用職員(学校事務職員)報酬、消耗品購入、燃料費・光熱水費の管理、郵便料・電話料等の管理、委託、学校備品購入、負担金納入等について予算を充実させ、遅滞なく執行する。				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 滞りのある事務について、要望があった件数			
	③ そのために何をしましたか。 予算の確保、学校予算の配当、予算執行状況の管理、全校に関わる契約等				→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 毎年度必ず執行すべき事務、年度の状況に応じて弾力的な行方事務について、どちらも必要な限り全て実施した。			
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	件	数十件	数十件	数十件						
	成果指標	②の数値	件	0	0	0						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
3 経費	事業費(実績)		円			59,543,433	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円			26,329,633						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円									
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	0	0	59,543,433							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 特に無し。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 今後も必要に応じて事務を確認、整理し、適切な処理を行いながら、引き続き小学校に関わる事業の円滑な運営に努める。											